

高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウム参加報告

熊澤克芳*、涌井義一*

*工学研究科・工学部技術部 装置開発技術系

はじめに

平成21年1月15・16日に高エネルギー加速器研究機構3号館セミナーホール(写真1)において、技術職員の更なる技術の向上と活性化を目的に、第9回目の技術職員シンポジウムが開催された。全学技術センター(工学研究科)技術部より涌井、熊澤が、聴講参加したので概略を報告する。

1. シンポジウムプログラム

現在、国立大学・国立高等専門学校・大学共同利用機構では、技術職員のよりいっそうの活躍を目的とした、業務内容の効率化、運営体制の整備、組織および運営の評価をめざした改革が実行されつつあり、シンポジウムでは、技術職員に係わる課題に対する各機関での具体的な取り組み、成果、新たな課題などを中心に、情報交換・意見交換が行われました。実行委員長の挨拶、機構長、技術調整役の挨拶に始まり、表1のプログラムで行われ、参加者数は、71人(高エネルギー加速器研究機構20人含む)でした。

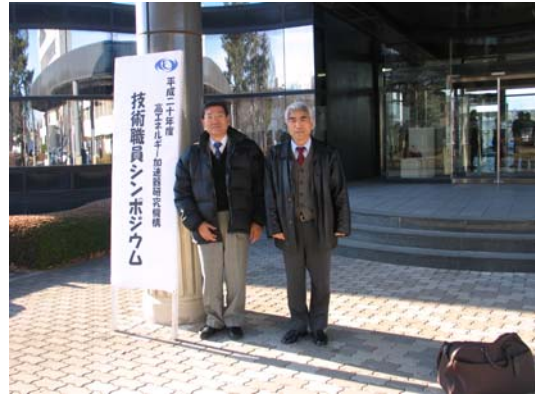


写真1 会場

表1 シンポジウムプログラム

1月15日(木曜日)		1月16日(金曜日)	
11時30分～13時00分	受付	8時30分～9時00分	ポスターセッション
13時00分～13時05分	開会挨拶	9時00分～10時00分	状況報告
13時05分～13時15分	機構長挨拶	10時00分～10時10分	休憩
13時15分～13時25分	技術調整役挨拶	10時10分～10時50分	状況報告
13時25分～14時25分	特別講演	10時50分～11時00分	休憩
14時25分～14時30分	小憩	11時00分～12時00分	意見交換
14時30分～15時30分	状況報告	12時00分～13時00分	昼食
15時30分～15時45分	休憩	13時00分～14時00分	状況報告
15時45分～16時45分	状況報告	14時00分～14時45分	意見交換
16時45分～17時00分	休憩	14時45分～15時00分	総評とまとめ
17時00分～18時00分	意見交換	15時00分～	閉会の挨拶
18時00分～18時30分	会場移動		
18時30分～20時00分	懇親会		

2. 内容概略

シンポジウムでは、

特別講演「ILC(International Linear Collider)加速器の開発」

状況報告

中期計画の総括に向けた具体的施策について	6件
技術の有効活用について	3件
後継者の育成と技術の継承について	5件
ポスターセッション（写真2）	7件

の講演と上述の各テーマにおける状況報告があり、おのおの5分ほどの質問時間と、報告の後に、1時間の意見交換（写真3）の場がもうけられ、活発な質疑応答がなされた。

状況報告では、各大学・機関における組織化の現状は、全国的に全学・機構で1本の組織化が進みつつあるが、まだ、学部で組織化されているところもあること。技術職員の年齢構成は、どこも偏ったところが多く、新規採用あるいは再雇用の現況について、技術の有効利用の観点から、研修や奨励研究の積極的な応募の取り組みなどの報告があった。

意見交換の時間では、状況報告のテーマで質問できなかったことなどを中心に情報・意見交換した。懇親会では、報告できない内輪の話を少しだが聞くことができた。

最後に、総評とまとめを行い、副実行委員長の閉会挨拶にて終了した。

3. おわりに

シンポジウムには、始めて聴講参加した。

各大学・機関の状況報告により、他大学・機関における独自の考え方や取り組み方、大学・高専では、組織化といいながらも管理職とはなっていないところが多く、また、機構等では、管理職として組織を運営していて、さらなる改革を検討していることなどの報告を聞き、いまさらながら、組織運営のむずかしさや技術職員問題の多さを痛感した。また、このシンポジウムのような意見集約の場に、技術部を運営管理する立場の人が積極的に参加していただきたいと感じた。今後、名古屋大学における技術部組織も見直しが予定されており、自分がそのような立場になれば、運営上の問題を解決する上で参考になりたいと思う。

最後に、全国の技術職員の方々と有意義な時間を過ごす機会を与えていただいた実行委員会の方々と並びに貴重な報告をしていただいた皆様、参加者の方々にお礼申し上げます。また、聴講の機会を与えていただきました工学部技術部に感謝いたします。

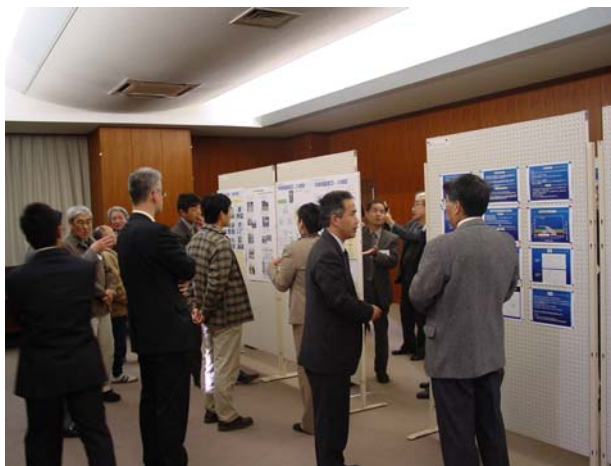


写真2 ポスターセッション



写真3 意見交換